

「年頭所感」

新年おめでとうございます。

本年も平穩無事に正月を迎える事ができ、感謝しております。

昨年、一昨年と、兵庫県民間病院では、医療消費税非課税制度の矛盾と、それによる病院経営に与える深刻な影響につき、そのPRと訴訟に力を注いできました。

今年は、少し視野を世界に広げて書いてみました。

日本は戦後70年余り、平和を享受してきましたが、世界に目を向ければ、国内で、同じ民族同士で宗派の違いから、戦い、殺しあっている国や、テロで多くの民間人が犠牲になっている国が多くあります。

米国は、第二次世界大戦以来、朝鮮戦争、ベトナム戦争、アフガニスタン、イラクと戦争を続け、多くの若者たちが命を失っております。

日本はその間、米国の核の傘に守られているとは言え、一度も戦争を起こしておらず、一人の戦死者も出しておりません。

これは、戦争は絶対にしないという平和憲法を忠実に守っているからです。

今問題となっている集団的自衛権でも、一步間違えば戦争に巻き込まれる恐れがあります。

今我が国にできることは、紛争の解決手段として、戦争は絶対にしないという、この平和憲法を世界に広げることです。

キリスト教やイスラム教などは一神教ですが、日本の宗教である仏教や神教は自然のあらゆる所に神仏が宿るという多神教であります。宗派の違いでも戦いや争いを起こしたりはせず、受け入れてきました。これは日本人の精神に深く根づいております。聖徳太子の昔より、和の精神を大事にしてきました。

日本が世界に貢献出来るのは、優れた国民皆保険制度のある医療や、その国に適した産業、教育の分野ではないでしょうか。

平成27年 元旦

尼崎中央病院 理事長 吉田静雄